

# 大会趣意

2050年カーボンニュートラルの実現を目指し  
ー山口県は県民の行動を変化させることに向けて  
どのような施策を実施すべきかー

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、2025年2月に閣議決定された地球温暖化対策計画では、温室効果ガス排出量を2035年度に60%、2040年度に73%削減(2013年度比)するという野心的な目標を設定し、全ての者が自主的かつ積極的に気候変動問題に取り組む必要があるとしている。

しかしながら、内閣府が2025年10月に公表した「気候変動に関する世論調査」によれば、9割以上の方が気候変動問題に関心を持っている一方で、地球温暖化対策に積極的に取り組みたい人は3割未満にとどまっている。

このような中、山口県では「ぶちエコやまぐち」を合言葉に、県民一人ひとりが地球温暖化対策に自ら取り組むこと(ゼロカーボン・チャレンジ)を推進しているが、県民一人ひとりの行動を変えるためには、これまで以上に取組を強化することが求められる。

そのため、「山口県は県民の行動変容を促すためにどのような施策を実施すべきか」について考えることは重要なことであろう。

以上の大会趣意を踏まえて以下のような問いに回答してほしい。

## パブリック・ディベートの問い

「2050年カーボンニュートラルの実現」に向けて、

- (1) どのようなユニークな施策が考えられるか。
- (2) 県民の行動の変化につなげるには何を行うべきか

山口県ならではのユニークかつ斬新なアイデアの提案を行ってください。